

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-185214

(43)公開日 平成10年(1998)7月14日

(51)Int.Cl.

F 24 C 15/36

識別記号

F I

F 24 C 15/36

E

K

審査請求 未請求 請求項の数1 FD (全5頁)

(21)出願番号 特願平8-354950

(71)出願人 591069020

株式会社グリーンライフ

新潟県三条市南四日町4丁目1番9号

(22)出願日 平成8年(1996)12月20日

(72)発明者 外山 晴一

新潟県三条市北新保2-7-12

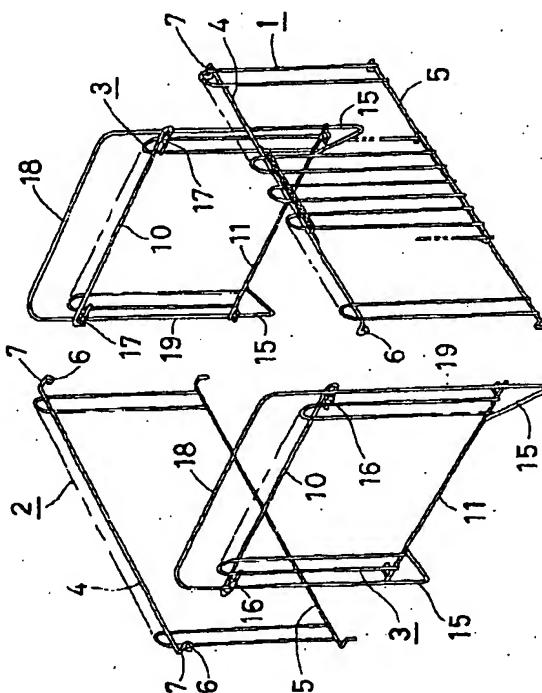
(74)代理人 弁理士 木下 慶男

(54)【発明の名称】ストーブ用ガード

(57)【要約】

【目的】石油ストーブの囲いとして好適なストーブ用ガードの提供。

【構成】正面枠体1と後面枠体2とは同一形状で、上下に平行した上横長杆4と下横長杆5を設け、上横長杆の両端に90度折曲すると共に先端に挿通孔6を形成した上折曲杆部7を設け、下横長杆の両端に下方に折曲した挿入係止片8を備えた下折曲杆部9を設け、更に両側の両側面枠体3は同一形状で、上下に平行した上横杆10と下横杆11を設け、上横杆の両側に挿通孔に対応した挿通横長孔12を設け、下横杆13の両端に挿入係止片を挿入係止する係止孔14を設けると共に脚片15を下方に突設して形成し、又更に一对の相対した両側面枠体の係止孔14に正面枠体と後面枠体に設けた挿入係止片を挿入し、且又一对の相対した両側面枠体の挿通横長孔と正面枠体と後面枠体に設けた挿通孔にボルト杆16を挿入すると共に該ボルト杆に蝶ナット17を螺合し締付けて正面枠体と後面枠体の両側に両側面枠体を取付けたことを特徴としている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 四角状の正面枠体1と四角状の後面枠体2の両側に両側面枠体3、3を設けたものに於いて、正面枠体1と後面枠体2とは同一形状で、上下に平行した上横長杆4と下横長杆5を設け、上横長杆4の両端に90度折曲すると共に先端に挿通孔6を形成した上折曲杆部7、7を設け、下横長杆5の両端に上折曲杆部7、7と同方向に折曲すると共に先端に下方に折曲した挿入係止片8、8を備えた下折曲杆部9、9を設けたものであり、更に両側の両側面枠体3、3は同一形状で、上下に平行した上横杆10と下横杆11を設け、上横杆10の両側に挿通孔6、6に対応した挿通横長孔12、12を設け、下長杆13の両端に挿入係止片8、8を挿入係止する係止孔14、14を設けると共に脚片15、15を下方に突設して形成したものであり、又更に一対の相対した両側面枠体3、3の係止孔14、14、14、14に正面枠体1と後面枠体2に設けた挿入係止片8、8、8、8を挿入し、且又一対の相対した両側面枠体3、3の挿通横長孔12、12、12、12と正面枠体1と後面枠体2に設けた挿通孔6、6、6、6にボルト杆16、16、16、16を挿入すると共に該ボルト杆16、16、16、16に蝶ナット17、17、17、17を螺合し締付けて正面枠体1と後面枠体2の両側に両側面枠体3、3を取付けたことを特徴とするストーブ用ガード。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は石油ストーブの囲いとして好適なストーブ用ガードに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来ストーブ用ガードで四角状の正面枠体と四角状の後面枠体の両側に両側面枠体を設けたものに於いて正面枠体と後面枠体と両側面枠体とを連結具を介して取付けたものは知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする問題点】ところで、従来のストーブ用ガードで四角状の正面枠体と四角状の後面枠体の両側に両側面枠体を設けたものに於いて正面枠体と後面枠体と両側面枠体とを連結具を介して取付けたものは、構造が複雑で組み立てが面倒であると共に簡単に組み立て分解が出来ず、その取り扱いが不便であるなどの欠点があった。

【0004】この発明は上記の問題点を解決したものであつて、構造が簡単で工具等を用いる複雑な操作を必要とせず組み立てが容易であると共に簡単に分解が出来るもので、使い勝手が良く、使用便利なストーブ用ガードを得ることを目的としたものである。

【0005】

【問題点を解決するための手段】上記の目的を達成するためにこの発明は、四角状の正面枠体1と四角状の後面

枠体2の両側に両側面枠体3、3を設けたものに於いて、正面枠体1と後面枠体2とは同一形状で、上下に平行した上横長杆4と下横長杆5を設け、上横長杆4の両端に90度折曲すると共に先端に挿通孔6を形成した上折曲杆部7、7を設け、下横長杆5の両端に上折曲杆部7、7と同方向に折曲すると共に先端に下方に折曲した挿入係止片8、8を備えた下折曲杆部9、9を設けたものであり、更に両側の両側面枠体3、3は同一形状で、上下に平行した上横杆10と下横杆11を設け、上横杆10の両側に挿通孔6、6に対応した挿通横長孔12、12を設け、下長杆13の両端に挿入係止片8、8を挿入係止する係止孔14、14を設けると共に脚片15、15を下方に突設して形成したものであり、又更に一対の相対した両側面枠体3、3の係止孔14、14、14、14に正面枠体1と後面枠体2に設けた挿入係止片8、8、8、8を挿入し、且又一対の相対した両側面枠体3、3の挿通横長孔12、12、12、12と正面枠体1と後面枠体2に設けた挿通孔6、6、6、6にボルト杆16、16、16、16を挿入すると共に該ボルト杆16、16、16、16に蝶ナット17、17、17、17を螺合し締付けて正面枠体1と後面枠体2の両側に両側面枠体3、3を取付けたものである。

【0006】

【実施例】以下図面についてこの発明の実施例を説明すると、四角状の正面枠体1と四角状の後面枠体2の両側に両側面枠体3、3を設けたものである（図1参照）。

【0007】又四角状の正面枠体1と四角状の後面枠体2と両側面枠体3、3とは四個に分解出来るものである（図2参照）。

【0008】正面枠体1と後面枠体2とは同一形状に形成したもので、その正面枠体1と後面枠体2には、上下に平行した上横長杆4と下横長杆5を設けたものである（図1、図2参照）。

【0009】上横長杆4の両端に90度折曲すると共に先端に挿通孔6を形成した上折曲杆部7、7を設けたものである（図2、図3、図4、図5参照）。

【0010】下横長杆5の両端に上折曲杆部7、7と同方向に折曲すると共に先端に下方に折曲した挿入係止片8、8を備えた下折曲杆部9、9を設けたものである（図6、図7、図8、図9参照）。

【0011】正面枠体1と後面枠体2との両側に取付けた両側面枠体3、3は同一形状に形成したもので、その上下に平行した上横杆10と下横杆11を設けると共に上部に把持部18を有し、両端下部に脚片15、15を下方に突設した逆U字状杆19、19を設けたものである（図1、図2参照）。

【0012】上横杆10の両側に挿通孔6、6に対応した挿通横長孔12、12を設けたものである（図3、図4、図5参照）。

【0013】下長杆13の両端に挿入係止片8、8を挿

入係止する係止孔14, 14を設けたものである(図6、図7、図8、図9参照)。

【0014】更に一对の相対した両側面枠体3, 3の係止孔14, 14, 14, 14に正面枠体1と後面枠体2に設けた挿入係止片8, 8, 8, 8を挿入するものである(図1、図7、図9参照)。

【0015】又一对の相対した両側面枠体3, 3の挿通横長孔12, 12, 12, 12と正面枠体1と後面枠体2に設けた挿通孔6, 6, 6, 6にボルト杆16, 16, 16, 16を挿入すると共に該ボルト杆16, 16, 16, 16に蝶ナット17, 17, 17, 17を螺合し締付けて正面枠体1と後面枠体2の両側に両側面枠体3, 3を取付けたものである(図1、図2、図3、図4、図5参照)。

【0016】正面枠体1と後面枠体2と両側面枠体3, 3にはろう着けなどによって多数の平行綫杆20, 20...を設けているものである(図1参照)。

【0017】正面枠体1には上下に昇降して前面口21を開閉する開閉枠部22を設けているものである(図1、図10、図11参照)。

【0018】

【発明の作用効果】この発明は以上のような構成であり、四角状の正面枠体1と四角状の後面枠体2の両側に両側面枠体3, 3を設けたもので、石油ストーブを囲んで安全なストーブ用ガードを得ることができるものである。

【0019】又夏季等不用の際は四角状の正面枠体1と四角状の後面枠体2と両側面枠体3, 3とは四個に分解出来るものであるでかさ張ることなく保管ができると便利である。

【0020】又正面枠体1と後面枠体2とは同一形状に形成したもので安価に提供でき、その正面枠体1と後面枠体2には、上下に平行した上横長杆4と下横長杆5を設けたものであり、更に上横長杆4の両端に90度折曲すると共に先端に挿通孔6を形成した上折曲杆部7, 7を設けたものであり、又更に下横長杆5の両端に上折曲杆部7, 7と同方向に折曲すると共に先端に下方に折曲した挿入係止片8, 8を備えた下折曲杆部9, 9を設けたものである。

【0021】又正面枠体1と後面枠体2との両側に取付ける両側面枠体3, 3は同一形状に形成したもので安価に提供でき、その上下に平行した上横杆10と下横杆11を設けると共に上部に把持部18を有し、両端下部に脚片15, 15を下方に突設した逆U字状杆19, 19を設けたものであり、更に上横杆10の両側に挿通孔6, 6に対応した挿通横長孔12, 12を設けたものであり、又さらに下長杆13の両端に挿入係止片8, 8を挿入係止する係止孔14, 14を設けたものである。

【0022】よって、組立てに際しては一对の相対した両側面枠体3, 3の係止孔14, 14, 14, 14に正

面枠体1と後面枠体2に設けた挿入係止片8, 8, 8を挿入し、更に一对の相対した両側面枠体3, 3の挿通横長孔12, 12, 12, 12と正面枠体1と後面枠体2に設けた挿通孔6, 6, 6, 6にボルト杆16, 16, 16, 16を挿入すると共に該ボルト杆16, 16, 16, 16に蝶ナット17, 17, 17, 17を指先で摘んで回し締付けて正面枠体1と後面枠体2の両側に両側面枠体3, 3を取付けることで、別途ドライバー等の工具を使用することなく極めて簡単に組立てができるものである。

【0023】又分解に際しては蝶ナット17, 17, 17, 17を指先で摘んで回し緩めてボルト杆16, 16, 16, 16より外し、更にボルト杆16, 16, 16, 16を挿通横長孔12, 12, 12, 12と挿通孔6, 6, 6, 6より外し、又更に挿入係止片8, 8, 8, 8を係止孔14, 14, 14, 14より外すことによって分解が簡単にできるもので取扱いが極めて好都合である。

【0024】又構造が簡単で大量生産に適し安価に提供できる等の幾多の産業的効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】斜視図である。

【図2】分解斜視図である。

【図3】挿通孔と挿通横長孔との分離状態を示した一部切欠正面図である。

【図4】挿通孔と挿通横長孔との分離状態を示した一部切欠背面図である。

【図5】挿通孔と挿通横長孔との結合状態を示した一部切欠正面図である。

【図6】挿入係止片と係止孔との分離状態を示した一部切欠正面図である。

【図7】挿入係止片と係止孔との結合状態を示した一部切欠正面図である。

【図8】挿入係止片と係止孔との分離状態を示した一部切欠背面図である。

【図9】挿入係止片と係止孔との結合状態を示した一部切欠背面図である。

【図10】正面枠体の開閉枠部を上げて前面口を開口した状態を示した一部切欠斜視図である。

【図11】正面枠体の開閉枠部をやや上げて前面口の一部を開口した状態を示した一部切欠斜視図である。

【符号の説明】

- 1 正面枠体
- 2 後面枠体
- 3 両側面枠体
- 4 上横長杆
- 5 下横長杆
- 6 挿通孔
- 7 上折曲杆部
- 8 挿入係止片

9 下折曲杆部

1.0 上横杆

1.1 下横杆

1.2 挿通横長孔

1.3 下長杆

1.4 係止孔

1.5 脚片

1.6 ボルト杆

1.7 蝶ナット

1.8 把持部

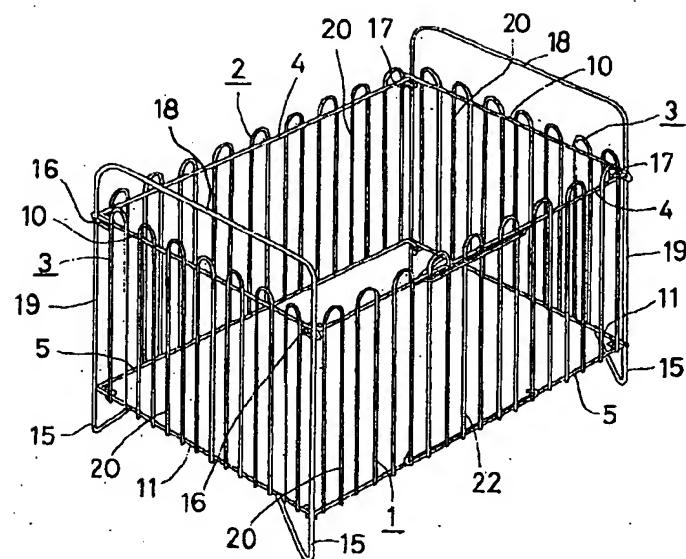
1.9 逆U字状杆

2.0 平行縦杆

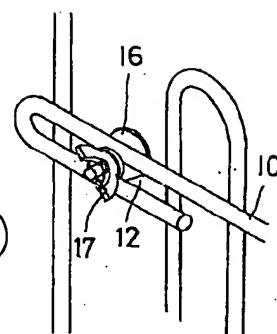
2.1 前面口

2.2 開閉枠部

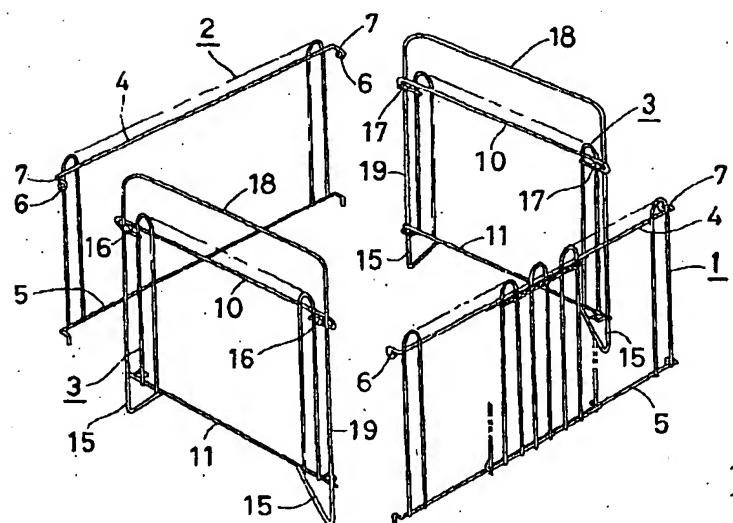
【図1】



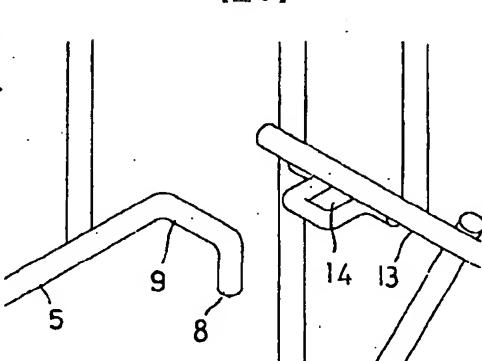
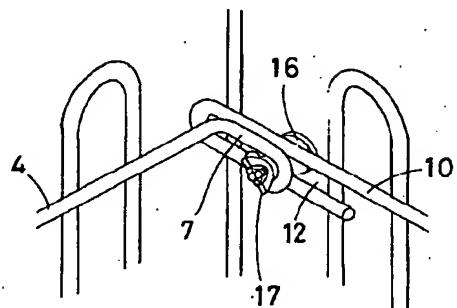
【図3】



【図2】



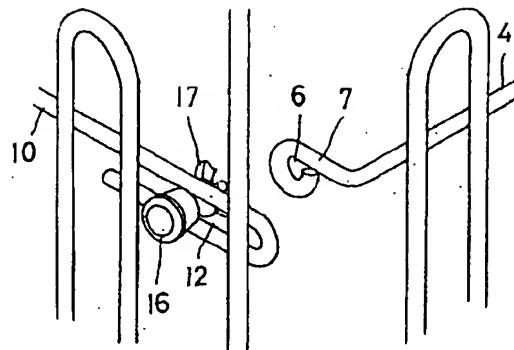
【図5】



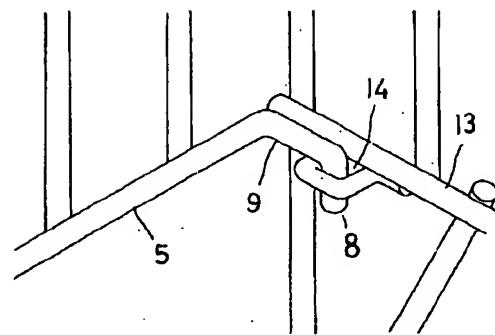
(5)

特開平10-185214

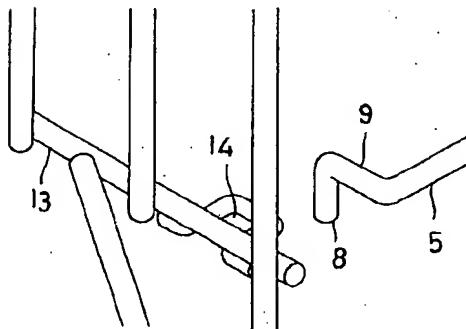
【図4】



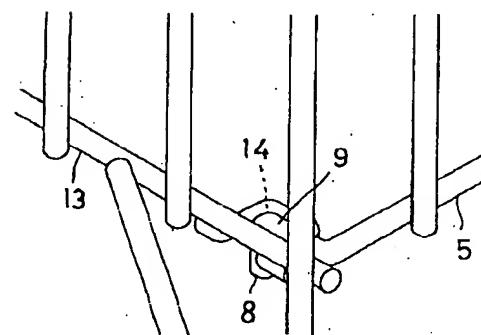
【図7】



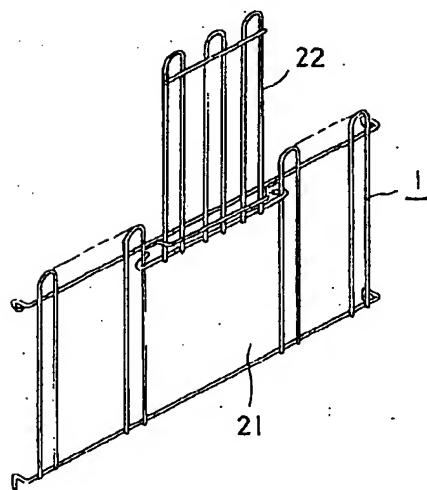
【図8】



【図9】



【図10】



【図11】

